



発行者



北海道へき地・複式教育研究連盟
www.hamanasu.com/dohekiren
委員長 梅木 登喜雄
編集責任者 宮下 敏
印刷所 有限会社 岡本印刷
旭川市6条西5丁目 ☎(0166)22-0752
題字 書家 濱谷彩鶴(はまや・さいかく)氏

梅木登喜雄(日高)を委員長に選任
平成17年度 定期総会を開催

5月10日(火) 於 ホテル ライフォート札幌

「教育研究を本文」として、一層の充実を！

北海道へき地・複式教育研究連盟委員長 梅木 登喜雄



平成17年度の総会において、前鈴木徳夫委員長の後任として選出されました。輝かしい歴史と伝統ある当連盟の重責を担うこととなり、身の引き締まる思いでいっぱいです。

半世紀以上に渡る多くの諸先輩の残された財産を糧とし、更に充実・発展する組織を目指し、業務の執行と運営に努めたいと思います。関係各位並びに加盟校各校のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

さて、道へき・複連は、昭和23年に結成された道単連のもとでの第1回全道大会より今年度で数えて54回目の全道大会後志大会を迎えようとしています。この間、道単連、道複連、道へき・複連と名称を変えながらも、へき地・複式・小規模学校のもつ課題解決の為に一貫して教育実践研究を柱とした取り組みを行って参りました。その研究も昨年度の全道大会釧路大会から第7次長期5か年計画のもと新たな研究が始まっております。

現在、少子化や国・道・市町村の財政的な逼迫、市町村合併等々により、学校の統廃合が進んでおります。当連盟としても、加盟校、会員の減少に伴う財政的な負担や研究組織への影響等、抱える課題は少なくありませんが、教育研究を本分とする研究組織団体としての使命を再確認し、組織運営にあたる所存であります。

9月に開催される第54回全道大会後志大会、その後の第55回全道大会根室プレ大会は既に実行委員会の組織のもと着々と準備が進んでおります。全道のへき地・複式教育に携わる仲間がごぞって参加され、英知と連帯をもって大いに研究大会を盛り上げてくれることを期待したいと思います。数多くの平凡な日々の実践、その着実な積み重ねが、非凡な実践の基盤を創り、子ども達の確かな学力と生きる力を培う、そんなことを肝に銘じている次第であります。

終わりに、今期をもって退任されます鈴木委員長をはじめと致します役員の皆様心から感謝とお礼を申し上げますと共に、今後も当連盟の充実・発展の為に総力をあげて取り組むことをお誓いし、ご挨拶と致します。